

公募型プロポーザルの実施に関する質問事項への回答

No.	質問タイトル	資料	質問内容	回答
1	人権啓発研修について	仕様書P5の6	人権啓発にかかる研修とはどのような研修となりますでしょうか。	人権啓発に関するテーマは、「女性や子ども」、「高齢者」、「障害者」、「同和問題」、「外国人」など様々ですが、これらのテーマに関する研修をいいます。 【参考】市ホームページURL https://www.city.toyonaka.osaka.jp/jinken_gakushu/jinken/panel/2019panel/index.html
2	返礼品提供事業者への返礼品発注及び配送管理業務について	仕様書P2の4(5)	弊社では事業者様に配送業者を選択できるようにしております。選択肢のなかで送り状発行サポートをご案内しておりますがその場合は返礼品提供事業者様への発注が寄附申込の4～5日後となっております。 (配送業者が手持ちにてお届けするようになっております。) 本件につきましてはいかがでしょうか。	3営業日以内に返礼品事業者へ発注を行う必要があります。(仕様書のとおり)
3	ワンストップ特例申請一括代行業務について	仕様書P3の4(10)	ワンストップ特例申請書の受付業務について、ふるさと納税doのワンストップ特例受付BPOサービスの利用を想定しております。その場合、ワンストップ特例申請書の返送先を豊中市に設定し、豊中市にて所定の住所に転送いただくこととなりますが、対応は可能でしょうか。 また、可能な場合、ワンストップ特例受付BPOサービスの利用料について、トラストバンクから豊中市へ請求され、豊中市にてお支払いいただくこととなりますが、対応は可能でしょうか。	寄附者から送付されるワンストップ特例申請については、本市を経由せず受託者が直接受領するスキームをご提案ください。(仕様書のとおり)
4	管理システムの提供について		管理システムの提供について、トラストバンク提供の「ふるさとdo」システムの使用は可能でしょうか。また、可能な場合、申込済みでしょうか。	すでに本市は「ふるさと納税do」を導入しております。
5	参考見積書A(本業務委託料)について	実施要領P4の4	1年間に受領する寄附は、寄附件数2,300件、寄附金額1.3億円を想定されているとのことですが、ふるさとチョイス、楽天ふるさと納税の場合、それぞれの内訳は想定されてますでしょうか。 サイト毎に委託料率が変わる形のご提案を想定しているため、ご提示いただきたいです。	次のとおり想定しています。 ふるさとチョイス：約1,060件 楽天ふるさと納税：約1,240件
6	在庫切れの際の通知について	仕様書P2の4(5)	在庫切れ時は、速やかに掲載サイトでの表示を切り替え、返礼品提供事業者様に在庫切れの通知を実施します。 場合によって、委託者に報告するケースもあると思っておりますが、在庫確保や調整は受託者と返礼品提供事業者間で実施すべきことと考えております。 在庫切れの際は例外なく必ず委託者への連絡は必要でしょうか。	在庫切れにおける対応について、掲載サイト上での寄附者への周知、返礼品提供事業者への連絡・調整を行う運用でも問題ありません。ただし、本市窓口にて寄附の受付を行う場合などにおいて在庫状況を把握しておく必要があるため、本市へ情報提供いただく必要があります。
7	ワンストップ特例申請一括代行業務に係るその他の経費負担に関して	仕様書P5の8	ワンストップ特例申請一括代行業務に関わる経費として、寄附者がワンストップ特例申請書を郵送される料金後納郵便代(実費)と、委託先(ワンストップ事務処理センター)からワンストップ特例申請書を自治体に返送する郵代(実費)がかかりますが、これらの費用はご負担いただけるのでしょうか。	金額の詳細については、見積書でご提示ください。